

日本学術振興会  
炭素材料第117委員会  
第294回委員会議事録

1. 日 時 平成22年7月23日（金） 9：30～17：30

2. 場 所 東京都市大学 等々力キャンパス 総合研究所

3. 出席者 49名 （順不同・敬称略）

委 員 長： 寺井隆幸（東大）

主 査： 川口雅之（大阪電通大）、児玉昌也（産総研）、森田登（日本工大）

幹 事： 鏑木裕（東京都市大）、稲垣道夫（北大名誉）、安田榮一（東工大）、  
吉田明（東京都市大）、小林知洋（理研）

委 員： 羽鳥浩章（産総研）、豊田昌宏（大分大）、柴田大受（原子力機構）、  
岩下哲雄（産総研）、小田廣和（関西大）、園部直弘（クレハ／代理：  
多田靖浩）、高波浩（タンケンシールセーコウ／代理：木村直文）、  
塩山洋（産総研）、蛭谷玄太（コバレントマテリアル）、藤本宏之  
（大阪ガス）、近藤純子（東洋炭素）、山下良（新日本テクノカーボン）、  
尾崎純一（群馬大）、戸田晋次郎（日本電極）、福田敏昭（東  
海カーボン／代理：鶴田佳子）、川野陽一（新日鐵化学／代理：柴田  
和哉）、阿久沢昇（東京高専）、松平寛司（関西熱化学／代理：粕  
谷重明）、太田道也（群馬高専）、向井紳（北大）、原田博文（日本  
カーボン／代理：牧田重史）、中川慎也（トライス）、大平雅彦（富  
士カーボン製造所／代理：二見寛俊）、仁平徹（日立化成工業）

委 員 外： 木村脩七（東工大名誉）、菱山幸宥（東京都市大名誉）、山田能生（産  
総研）、夏目勇（元東海カーボン）、中村和正（東工大）、宮嶋尚哉  
（山梨大学）、鳥飼直親（横国大名誉）

同伴者他： 飯田信一郎（新日本テクノカーボン）、菅原利夫（新日本テクノカーボン）、  
矢形朋由（東大）、吉澤徳子（産総研）、松井雅義（群馬大）、竹中秀  
（東海カーボン）、平間博（東海カーボン）、阿部貴光（トライス）、森  
下隆広（東洋炭素）

4. 本委員会議事経過

寺井委員長司会の下に本委員会を開催した。

#### 4.1 前回議事録の承認

前回議事録（案）を承認した。

#### 4.2 第117委員会関係

##### (1) 委員長報告等

##### (a) 委員の異動等

退会申請 東レリサーチセンター 委員：村上直樹氏

退会申請 三菱ガス化学株式会社 委員：大信田卓朗氏

##### (b) 訃報

大谷杉郎氏（元委員、群馬大名誉教授、(財)群馬大学科学技術振興会理事長）

##### (c) 日独セミナーについて

- ・ 第二回日独セミナーは以下の日程で準備を進めている。  
9/20（月祝）観光・歓迎会、9/21（火）日独セミナー、9/22（水）会社見学（ドイツ側参加者と実行委員の一部）日本側参加者は117本委員会・分科会を開催。
- ・ 組織委員会（会長）寺井隆幸（実行委員長）尾崎純一（実行委員）岩下哲雄、吉澤徳子、小林知洋
- ・ 学振協力会特別事業（60万円）に採択され、ドイツ側研究者1名の渡航費と日本側若手参加者旅費、会議開催費に使用。
- ・ Invited lecture を日独それぞれ2件（産業界、学界各1件）、口頭発表を日独それぞれ4件、ポスター発表（学生中心に件数制限無し）を予定している。
- ・ ドイツ側参加者は Wolfgang Klose 前会長、SGL カーボン社関係者を中心に十数名の予定
- ・ 9月21日を117委員会特別講演会に位置づける

##### (d) J-PARC（大強度中性子発生施設）の利用について

J-PARC（原研・高エネ研）において、新しい測定設備（中性子・X線同時計測等）を造る計画に117委員会も参加。そのための基礎データ収集を目的に豊田委員（大分大学）と曾根田氏（産総研）のグループが装置利用を申請。原研 JRR-3（研究用原子炉）、高エネ研 PF（フォトンファクトリー、放射光）の今年度内の使用が許可された

##### (e) 次回以降の予定について

第3回 (295回) [B, C, A] 9/21 (火)・9/22 (水) 産総研臨海副都心センター (9/21 : 日独セミナー (117 特別講演会)、9/22 : 本委員会及び分科会) (会場担当 : 児玉幹事)  
第4回 (296回) [C, A, B, D] 11/19 (金) 会場未定 (会場担当 : 寺井委員長)

## (2) 分科会報告

- (117-294-A-1) Vertical  $\theta:\theta$  configuration 準集中ディフラクトメーターにおける幾何学的配置  
○菱山幸宥 (東京都市大名誉教授)、吉田明 (東京都市大総合研究所)、  
鏑木裕 (東京都市大工学部)
- (117-294-A-2) セルローズ系カーボンナノファイバーの高温処理による黒鉛組織の発達  
○大山未羽、新藤恵美、吉田明、鏑木裕 (東京都市大)  
岩下哲雄、児玉昌也、吉澤徳子 (産総研)
- (117-294-A-3) 高熱伝導率材 Pyroid® HT の磁気抵抗, 直断面ホール効果, 結晶粒寸法評価  
○鏑木裕 (東京都市大工学部)、吉田明 (東京都市大総合研究所)、菱山幸宥 (東京都市大名誉教授)
- (117-294-B-1) カーボンナノチューブのモル吸光係数の求め方  
○塩山宏 (産総研)
- (117-294-B-2)  $^7\text{Li-NMR}$  スペクトル解析によるリチウムイオン電池用炭素負極の安全性評価  
○藤本宏之, 馬淵昭弘 (大阪ガス)
- (117-294-C-1) 工業用カーボン高温物性の計測評価による製造・製品高度化の研究  
○岩下哲雄、児玉昌也、曾根田靖 (産総研)、坂本淳一、阿部紀之、峰野智久 (日本カーボン)、森川文人、薄葉秀彦、飯田信一郎 (新日本テクノカーボン)
- (117-294-C-2) ナノシェルカーボンとタンパク質および細胞との相互作用  
○松井雅義、尾崎純一 (群馬大学)
- (117-294-C-3) 炭素製造企業における開発 (東海カーボンの場合)  
○竹中秀 (東海カーボン)

## 4.3 報告事項

### (1) 炭素材料学会関係

学会関係 : 阿久沢委員 (運営委員長) より以下の報告があった。

- (a) 6月5日時点における会員数は995名（正会員809名、学生会員186名）で賛助会員は54社59口となっている。
- (b) 先端科学技術講習会 「リチウムイオン電池用負極 ―炭素負極から合金負極まで―」  
ハートピア京都（6/18） 7件の講演 聴講者123名
- (c) スキルアップセミナー 「電池用炭素系電極の新展開」日本化学会館 （9/3）
- (d) 10月セミナー 「1日で学ぶ炭素材料入門 ―入門編―」 講師交渉中
- (e) 学会賞 7月末締切（詳細は242号会告参照）文部科学大臣表彰、日本学術振興会有志賞
- (f) 第48回夏季セミナー（上田市 上田温泉） 8/30～9/1 信州大学繊維学部
- (g) 第37回炭素材料学会年会 12/1～12/3 姫路市市民会館
- (h) 年会要旨集について ページ数、英文要旨、CD、B4→A4版等について議論継続中。

炭素誌関係：鏑木幹事（編集委員長）より以下の報告があった。

- (j) J-stage アーカイブにおいて創刊号から2008年度分まで検索可能。順次増やしていく。
- (k) 245号の特集は炭素系薄膜の基礎と応用で11月に出版される。
- (l) 故大谷先生の追悼文に加え、業績をまとめることを検討中。
- (m) 賛助会員（企業）は年会時に発表件数、人数の制限は無い。

## (2) 国際会議関係

- (a) 尾崎委員より、米国Clemson大学で行われたCarbon2010に関して、発表件数は約600件、日本からの参加者は約20名であったことが報告された。
- (b) 吉澤氏より、AACG(Asian Association of Carbon Groups)の会合において、アジアで開催される2012年のCarbon国際会議の開催地決定を来年に持ち越したことが報告された。開催にはインドと韓国が立候補している。

(以上)